

# 市道整備など身近な要望次々出る

## 総合事務所主催の地区別懇談会

総合事務所が主催する地区別懇談会が7日、8日と2日間開かれました。この懇談会は旧吉川町時代から毎年行われていて、総合事務所がその伝統を守りつかり守っています。私は7日は都合で参加できませんでしたが、8日に行われた勝穂、東田中、竹直地区の3会場での懇談会に参加させてもらいました。

今回は本年度の吉川区関係の市予算、(株)杜氏の郷の損失補償契約問題などについて担当グループ長が説明し、住民と懇談しました。住民からは、「市道の草刈は遅い。いつからやるのか」「経営安定対策の担い手要件が緩和されたというのだが、説明してほしい」「市道の路面の修繕を4、5回やってもらっているが、じきにまたへこんでしまう。抜本的な対策を」「三セクの経営で損失補償の話が出ていますが、休業、民間への売却などは選択肢として考えられないのか」

などたくさん質問や意見が出ました。注目の(株)杜氏の郷の問題で総合事務所は、会社存続の方向で検討していききたいと答えていました。

懇談会参加者は2日間で約80人。各地でいろいろな行事があつて、参加者数は少なめでしたが、こうした懇談会を開催し、住民の声を一つひとつ拾い上げていくことはとても大切なことです。



は少なめでしたが、こうした懇談会を開催し、住民の声を一つひとつ拾い上げていくことはとても大切なことです。



### 15年在職表彰をうけました

6月議会の初日、全国市議会議長会などの永年在職議員表彰授与式が行われました。合併前に町村議をやっていた場合はその年数の半分を市議在職期間とみなすという表彰規定があり、私も在職15年以上の表彰状をいただきました。写真は左から、小林章吾(25年以上)、石平春彦(20年以上)、橋爪(15年以上)、山崎一勇(10年以上)、内山米六(同)、小関信夫(同)の各議員。



登壇して総括質疑をおこなっているところ。

## 「評価項目や基準を統一せず、学校の主体性第一にする」と教育長

総括質疑で私は、「学校評価の充実改善のための実践研究事業」を活用して、上越市で「学校評価の指針」を作成しようとしていることについてふれ、各校の主体性をおかさぬようにと主張しました。

小林猛夫教育長は、「当市で行なう学校評価は、評価項目や基準を統一し、機械的に点数化するものではなく、あくまでも学校の主体性を第一に」行うと約束しました。



【ヤマボウシ】上越タイムスに連載されていたエッセー、『続・やまぼうしの花が咲いたよ』が終わりました。筆者は吉川区米山で長年暮らしていた吉村恵美子さん。長年にわたった夫の介護の日々をありのままにつづったエッセーは、多くの読者に感動を与えました。連載の最終回は夫との永遠の別れの場面でした。「おとうさん、また会いたいね。絶対また会おうね」という言葉には胸が熱くなりました。連載された文章が1冊の本になればいいなと思っています。写真は代石で撮影。



NO 1350  
2008.6.15

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
Tel 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp